

令和8年度

# 出張講義

高大連携教育の  
充実をめざして



**Frontier**

**宇部フロンティア大学**

心理学部 / 看護学部 / 大学院人間科学研究科

**宇部フロンティア大学短期大学部**

保育学科 / 食物栄養学科

宇部フロンティア大学・宇部フロンティア大学短期大学部では、本学教員が高等学校等に出向いていく「出張講義」を実施しています。高校生の皆さんに、大学講義の雰囲気を感じてもらうとともに、学問への関心や大学への進学意欲を高めていただきたいと思います。

今年度も、ご要望のある高校様向けに出張講義を実施いたします。ここ数年、SDGsの目標に関連する講義の要望が多かったことから、本学においても対応可能な講義を準備しておりますので、詳しくは「テーマ一覧」をご確認ください。

この活動が高校生の皆さんへの学習の動機づけや進路選択・指導に役立つことを願っております。

## 《 目 次 》

心理学部心理学科	-----	2
看護学部看護学科	-----	4
短期大学部保育学科	-----	6
短期大学食物栄養学科	-----	7
出張講義申込用紙		
派遣依頼様式例		

## 《 SDGs17の目標に対応した講義 》 ～持続可能な開発目標～

目標1	貧困をなくそう	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
目標2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標4	質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う
目標6	安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
目標8	働きがいも経済成長も	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標10	人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
目標11	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
目標13	気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

## 手続きの方法について

### 手続き概要

出張講義には、本学へお越しいただき学内で実施する場合と、ご依頼いただいた高校内で実施する場合があります。また複数の講義を並行して実施することや、社会見学の一環としてお引き受けすることもあります。

高校様のお出張講義を取り込んだ様々な総合的教育のご予定とご要望に対して、本学では可能な限り柔軟に対処し、お応えできる体制を整えています。

### 1. 出張講義申し込み手順

出張講義をご希望の高等学校は、次の要領で申し込みください。

#### ①申し込み受付

出張講義申込用紙を、FAXまたはEメールにてお送りください。  
申込用紙が届き次第、速やかに教員の都合等の調整をさせていただきます。  
なお、ご希望される講師の都合が合わない場合がございますので、可能な限り希望講義(第1~3希望)と希望日時(第1~3希望)の記載をお願いいたします。



※実施1ヶ月前までにお申し込みください

※出張講義申込用紙は、本紙コピーまたは本学ホームページからダウンロードしてください

※講演会等の授業の一環を目的としない場合の依頼については総務課までご連絡ください(0836-38-0500)

#### ②派遣講師決定

申し込みのあった高校のご要望にそえるよう、担当講師と相談・調整を行ない、Eメールまたは電話にてご連絡をいたします。



※講師の都合により、第1希望講義以外の第2・3希望講義となる場合があります

#### ③派遣依頼書提出

講師内定次第、本学の学長宛に講師派遣依頼文書をお送りください。



※様式は任意ですが、派遣依頼用紙例を参考に作成ください

※依頼文書は、依頼講師宛ではなく学長宛をお願いします

#### ④詳細打ち合せ

講師決定後、必要に応じて講師と高校ご担当者様で直接打ち合せをしていただきます。

### 2. 費用

山口県内での出張講義実施に関する費用(旅費・謝金等)は無料です。  
山口県外での実施については、お問い合わせください。

### 3. お問い合わせ先

〒755-0805 山口県宇部市文京台二丁目1番1号

TEL 0836-38-0511

FAX 0836-38-0600

E-mail: info@frontier-u.jp

(件名に「出張講義申し込み」とお書きください。)

受付時間 平日9時~17時

【担当 入試広報課】

## 心理学部心理学科 出張講義テーマ一覧

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
A-1	教授 高田 晃	<b>日常生活のなかでみる心理学理論</b> 心理学の理論は日常生活の中で数多く活用されています。それらの理論についていくつかを取り上げ説明します。	生徒	
A-2	教授 榎本 俊哉	<b>私たちの生活と心理学</b> 「心理学」は私たちの生活の中にあります。この授業では、みなさんの生活とのつながりが見えてくるように、いくつかの心理学の理論や視点を紹介していきます。心理学を知ることで、世界の見え方が変わる人がいるかもしれません。	生徒	目標4
A-3		<b>自分の育て方を考える</b> 「何のために学ぶの?」「人生で学ぶことの意味って何?」というような疑問を感じたことがある人は多いのではないかと思います。この授業ではこの疑問について、心理学の視点からの「出会い」をキーワードにして、みなさんと一緒に考えます。	生徒	目標4
A-4	准教授 小野 洋平	<b>犯罪のない、安心して暮らせる社会を作ろう</b> 犯人を逮捕し、裁判が行われる過程で、犯罪心理学を応用した科学的捜査技法であるプロファイリングやポリグラフ検査が行われています。これらの技法の概要や心理学的エビデンスを解説します。また、犯罪者や被害者の心理を紐解き、安心して暮らせる社会を構築するために必要なことは何かを考えます。	生徒	目標10 目標16
A-5		<b>目から心の働きを予想しよう</b> 「目は心の窓」というように、目は心が表れるものとして考えられてきました。この講義では視線やアイコンタクト、まばたきにどのような心理が反映されるかを解説します。また他者の心を推測する実習を行い、コミュニケーションや対人関係にどのように役立てるかを考えます。	生徒	
A-6	准教授 脇 貴典	<b>授業が長く感じるのはなぜか?</b> 「タイパ」(タイムパフォーマンス)という言葉があるように、時間的効率を重視する考え方は広く認知されています。一方、5分が短く感じることもあれば、長く感じられることもあるように、時間をどのように認識するかは、個々人が置かれた状況や心理によって変化します。時間知覚について解説し、タイパを高め、よりよいタイムマネジメントにつながるよう心理学的に考えます。	生徒	目標3 目標8
A-7		<b>感情をコントロールして円滑な人間関係を築こう</b> 私たちの持つ感情には、大きく分けるとポジティブなものやネガティブなものに分けられます。ネガティブ感情は、対人関係や心身の健康を悪化させる原因になることがありますので、できれば感じたくないと思うものです。では、なぜ私たちはネガティブな感情を感じるのでしょうか。講義では、感情のメカニズムを説明するとともに、自身の感情とどのように向き合っていったらよいか実践を通じて学びます。	生徒	目標3
A-8	准教授 三島 瑞穂	<b>やる気を心理学的に伝える</b> 宿題や試験勉強など、やらなければならないとわかっていても、なかなか手がつかないことはありませんか? また、最初は頑張っていたものの、3日坊主になってしまった経験もあると思います。なぜ継続できないのでしょうか。動機づけに関する講義を踏まえ、自分のモチベーションをコントロールする方法について考えましょう。	生徒	目標8
A-9		<b>「共に生きる社会について考える～多様性の可能性～」</b> 私たちの暮らす社会には、さまざまな人が住んでいます。この授業では、特に障害のある人と暮らす共生社会について、いくつかの視点や事例を紹介していきます。一人ひとり違う「多様性」について考えること、それはすなわち、障害のある人もない人も、どの人も大切にされ、学びやすくて暮らしやすい、豊かに幸せに生きていくことを考えることにつながります。みんなで一緒にこれからの「多様性」を考えていきましょう。	生徒	目標4
A-10	准教授 三島 瑞穂	<b>心理学を受験に活かす</b> 心理学の様々な技術は、個性に合わせた学習方法の発見に役立ちます。また、脳の性質を知っておくと効率的に学習することができます。	生徒	
A-11		<b>心理学を学生生活に活かす</b> 自分の価値観を大事にする、強みを発見する、人間関係を良いものにする等、生活に役立つ心理学を体験的に学びます。	生徒	
A-12		<b>アートセラピーでコミュニケーション力を高める</b> クレヨンを用いたワークで、自分の対人関係の癖を知ったり、苦手な人とのコミュニケーションを楽しむ。	生徒	

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
A-13	准教授 森本 裕子	人間の集団とは？あなたは周りに影響を「受けすぎて」いる	生徒	目標17
		人間は集団生活をする動物です。さて、その特徴はどのようなものでしょうか？人間の行動は、一人の時と集団の時が大きく違います。社会心理学という分野では、人間の行動が、時には衝撃的なほどに、周りに影響されてしまうということを明らかにしてきました。この講義では、そのエッセンスをお伝えします。		
A-14		日本文化は日本人の心にどんな影響を与えているの？	生徒	目標17
		文化によって、人のあり方はちがいます。それは「〇〇人の血が流れている」……からではないのです。生まれてからずっとある文化の中で生活していく中で、私たちは自然と文化的なものを見方を身につけていきます。どうやって身につけるのか？日本文化における見方ってどういうものなのか？主に北米文化と比較しながらお話します。		
A-15	「周りの世界を感じる」こと、そしてそれが「わかる」こと	生徒		
	私たちは、世界をあるがままに見たり聞いたりしているわけではありません。周りの情報を、ときには無意識に、ときには意識的に取捨選択しながら、自分が処理すべき情報だけに焦点を当てているのです。そうしたこころの仕組みを、「知覚」と言います。ところが、なにかを知覚できることと、それを「わかる」こととの間には、またひとつ大きな違いがあるのです。私たちはどうやって世界を感じ、理解しているのでしょうか。認知心理学という分野でわかってきたことのほんの一部をご紹介します。			
A-16	記憶の仕組み	生徒		
	人間の記憶システム。そんなもののことを考えたこともない人がほとんどです。しかし心理学では、そんなものが長く熱心に研究されてきています。人間の記憶ってどんなふうになっているの？うまく記憶するにはどうしたらいいの？そんなことをお話します。もしかしら受験にも役に立つかもしれませんね。			
A-17	講師 小山 典子	自己理解と自己表現について学ぶ –「心の窓」の開き方–	生徒	
	人と人がわかるときの大切なポイントの1つは、互いにどれほど「自分の心の窓」を開きあっているかということです。人間関係を深めるためには、「心の窓」を開くという適切な自己開示やフィードバックが必要です。自己理解・他者理解について、ワークしながら体験的に考えていきます。			
A-18	講師 木元 卓也	DV(ドメスティック/バイオレンス)被害による心理的影響について	生徒	目標3 目標5
		最近、恋人間や夫婦間において暴力が多くみられるようになっており、暴力の影響は自身だけでなく、周囲の家族に深刻な影響を及ぼすことが分かってきました。DV(ドメスティック/バイオレンス)被害による心理的影響について、詳細に説明します。		
A-19		「暴言も立派な暴力です！」 ～ひとりで抱えずみんなで考えるこころの健康～	生徒	目標3
	スマートフォンが急速に普及し、SNSやネットでの書き込み内容のモラルが問われています。そこで本講義では、言葉の暴力による心身のダメージや怒りのコントロール方法、ストレスの正しい対処法について考えていきます。			
A-20	「ジェンダー平等を実現しよう！」 ～パートナーと折り合うために必要な心理学～	生徒	目標5	
	多様性が問われる現代において、ひとり一人が抱えている偏見に気付き、周囲の人々と適度な距離間でコミュニケーションを取っていかねばなりません。そこで本講義では、パートナーへの暴力が及ぼす影響や日本の今までの家族のあり方について触れ、パートナーと折り合うために必要なことを考えていきます。			
A-21	「こころの傷に時効なし！身近に潜むストーカー行為に気を付けよう！」	生徒	目標3 目標4 目標16	
	警察庁「令和2年におけるストーカー事案及び配偶者からの暴力事案等への対応状況について」によると、令和2(2020)年のストーカー事案の相談件数は2万189件です。被害者の87.6%が女性で、加害者の80.7%が男性となっています。加害者の心理やカウンセリングを通して語られたエピソードを交えて、性被害のない社会を目指すことにとって必要なことを考えていきます。			
A-22	講師 馬場 弓歌	親子のトリセツー 思春期の子どもと向き合うセルフコンパッションー	生徒	目標4
	思春期の子どもと中年期に差し掛かる時期の親のそれぞれの特徴を踏まえ、親子のすれ違いを「親子のトリセツ」として整理します。また子どもの行動の背景理解に加え、保護者自身の感情への気づきと整え方に焦点を当てた上で、セルフコンパッションのワークを通して、自分を責めすぎずに関わる姿勢を育み、安心できる親子関係の基盤づくりを共に学んでいきます。			
A-23		学級づくり、チームづくりのための心理学の実践	生徒	目標4
	協同絵画やマンダラチャート、マシュマロ・パスタ課題などの体験型活動を通して、集団の中での共同作業やコミュニケーションを体感します。活動後には、メンバーとの共同作業の中でどうすればチームとしてよりよい結果を作り出せるかを振り返ります。			

## 看護学部看護学科 出張講義テーマ一覧

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-1	教授 佐藤 美幸	<b>こころの健康について考えよう</b> 精神障害は身近な問題でありながら、一般にはなかなか理解してもらえず、偏見や差別が根強く残っています。精神障害とはどんな障害なのか、精神障害をもつ人はどのような人なのか、こころをケアすること、自分自身のこころの健康についてわかりやすく解説します。また、特定の精神疾患とその対応についてのテーマでも講義可能です。	生徒	目標3
B-2		<b>コミュニケーション技術を磨こう</b> 看護職の大切な技能の一つにコミュニケーション能力があります。日常生活において、あるいは仕事において、コミュニケーションを円滑に進めていくための知識と技術を伝授します。	生徒	目標3
B-3	教授 安成 智子	<b>女性の健康</b> 思春期に大きく変わる私たちのからだ。大人に近づくにつれて、からだにも心にもこの時期特有の変化や現象が起こってきます。 心配しないでいいこと、ちょっと気にしておいてほしいこと、将来のためにもしっかり気を付けてほしいこと。今のあなたに知っておいてほしい、今日から役立つ知識をわかりやすくお話しします。	生徒	目標5
B-4	教授 岡光 基子	<b>子どもとその家族の健康について考えよう</b> 子どもとその家族を取り巻く環境は、急速に変化しています。こうした変化に伴い、子育て家庭は育児不安やストレスを抱えることが増え、子ども虐待の件数も増加の一途をたどっています。この講義では、子どもとその家族の発達や健康についてわかりやすくお話しします。地域全体で子どもと家族を支えることの重要性について、一緒に考えてみましょう。	生徒	目標3
B-5	教授 白石 義孝	<b>偏差値のカラクリと統計のウソ データの読解力を身に付けよう</b> 高校生のみなさんが進学先の大学などを選ぶときの判断材料として「偏差値」があります。しかし、偏差値は母集団の属性によって大きく変化しますし、意図的に操作することも可能なため、絶対的に正しいものではないのです。この講義では大学入学共通テストで求められるレベルの、データの読解力を演習問題を通じて解説し、統計にダマされないための思考訓練を行います。	生徒	目標4
B-6		<b>「先取り学習」のすすめ 情報戦を勝ち抜く正しい知識とは</b> 私の授業では毎回予習課題を出します。その理由は、学生があらかじめ疑問点を明確にすることにより、集中して授業を受けることができるからです。大学受験において、予習を最大限に拡大したものが「先取り学習」です。正しい知識をもって「先取り学習」に取り組めば、高校の授業を復習の機会として、大学受験に役立つ知識を定着させることができます。参考書や動画による学習も有効ですが、教育系YouTuberに振り回されないための注意点も含めてアドバイスしたいと思います。	生徒	目標4
B-7	教授 福岡 泰子	<b>脈から知る身体</b> 看護師の重要で基本的な仕事の一つにバイタルサインの観察があります。これは「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」「意識レベル」を基本とした生命徴候のことを指します。この講義ではこの中でも脈拍測定を取り上げ、そこから実際に行いながら、自分の身体のことを知っていくような授業を行います。	生徒	目標3
B-8	准教授 礒村 由美	<b>療養生活を支える看護の技術</b> 病気や障害により日常生活に支障を生じるようになった患者さんに対する、看護の方法や技術について説明します。1つの看護援助の中には、さまざまな目的や方法があったり、科学に基づいた技術、対象に応じて工夫された技術があります。実際に患者さんの療養生活を支える看護の技術についてお伝えします。	生徒	目標3
B-9		<b>患者本人の意思を尊重する意思決定支援</b> 医療や看護の実践において、患者さん本人の意思を尊重することは非常に重要です。特に、意思表示が困難な状態にある患者さんの意思を尊重することは重要であり、かつ、非常に難しいことでもあります。意思決定のプロセスやアドバンス・ケア・プランニング(ACP)などから、その方法について考えます。	生徒	目標3
B-10	准教授 金子 真弓	<b>看護と観察</b> 一般社会において、「観察」とは“目でよく見る”ことを言いますが、看護での「観察」は見るだけではなく、その他の方法も使って人を理解していくことを言います。看護での五感を使った観察について、聴診器や自分の手を用いながら実際に体験してみましょう。	生徒	
B-11	准教授 金川 真理	<b>自分の性について考えてみよう</b> 1) 望まない妊娠や性被害について一緒に考え、今日から実践できる自分の身を守る方法について一緒に探してみましょう。 2) 「LGBT」または「SOGI」という言葉を聞いたことがありますか？ 性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われることがあります。この機会に多様な性や自分の性について一緒に考えてみましょう。	生徒	目標5
B-12		<b>いのちについて考えてみよう</b> 1) 男女の体の違いやいのちの誕生の視点からいのちについて一緒に考えてみましょう。 2) ダイバーシティ(多様性)という言葉を知っていますか？ 集団において多種多様な人が集まった状態のことです。この多様性の視点からいじめや自殺について一緒に考えてみましょう。	生徒	目標3

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-13	准教授 金川 真理	<b>異文化や世界の国々について考えてみよう</b> 1) 多様性の共存につながる異文化理解は、異なる価値観を持つ人々と共に生きていくために必要になっています。世界の国々と比較することで日本を見つめ直してみましょう。 2) 世界が抱える貧困や経済格差について一緒に考えてみましょう。日本を含めた世界は貧困問題に取り組むことができるでしょうか。	生徒	目標1 目標10
B-14		<b>災害について考えてみよう</b> 自然は時に猛威をふるい、風水害や地震・津波、火山爆発等を引き起こし、人々の命や健康を奪ったり、日々の生活をも困難にします。また、航空機の事故や放射性物質を扱う施設での事故等、人間が関与する人為災害も大きな被害をもたらします。災害を予防するための取り組みや、災害発生後の被害を最小限に抑えるための取り組み、災害支援について一緒に考えてみましょう。		
B-15	准教授 清水 佑子	<b>家で病気の人を見ていくには</b> 現在、日本は超高齢社会になっています。そのため、何かの病気を持ちながらも、家で暮らしていかなければならない人もたくさんいらっしゃいます。そのような人を助ける制度や、申し込みの方法を知っていますか？いろいろな制度を使って、無理のない生活をしていきましょう！	生徒	目標3
B-16	講師 江口 恵里	<b>Happy・Happyの関係になろう</b> 仲間と成長し合うためにホスピタリマネジメントがあります。ホスピタリティを向上させるための土台は、人間にしか生み出すことができない価値(礼儀、節度、態度、物腰、言葉づかい、ルール、約束事の順守、ポリシー)です。なぜ大切なのか一緒に考えてみましょう。	生徒	目標17
B-17		<b>認知症の世界</b> 「認知症高齢者の体験」「ケア提供者の現実世界」をロールプレイを通してどうして???を体験してみます。きっと認知症への理解が深まります。		
B-18	講師 柿並 洋子	<b>今よりうまくできるには・・・</b> SST(生活技能訓練)とは対人関係において「ものの見方と行動のとり方」を学習していく方法です。精神科リハビリテーション領域でのSSTについて、導入部分として大切なウォーミングアップを実際に体験しながら、「できないところではなく、今できていることをみる」視点の大切さを一緒に考えてみませんか。	生徒	
B-19	講師 立川 美香	<b>自分のコミュニケーションの癖を知ろう！</b> 人間関係を構成する自己と他者について、私たちが自分自身についての理解や意識をどの様にもち、他者をどの様に捉えているのかを、ワークを通して気づき学んでいきます。	生徒	目標3
B-20		<b>コミュニケーションの能力を深めてみませんか</b> よりよい人間関係を構築するには、コミュニケーション能力が大切です。コミュニケーションの中でも傾聴や承認の仕方について、グループワークを通して学んでいきます。		
B-21	講師 吉富 和子	<b>安楽死・尊厳死について</b> 高齢化、医療技術の進歩に伴い人間の死に対する考え方は変化しつつあります。尊厳死とは、自分の意思で終末期の延命措置を行わず、人としての尊厳を保った状態で自然な死を迎えることを言います。安楽死と尊厳死の違いは何か？死ぬ権利は存在するのか人の命とは何かを一緒に考えてみませんか。	生徒	目標3
B-22	講師 和氣 さち	<b>健康寿命の延伸って、何をすればいいの？</b> 私達が暮らす山口県ではどのくらい高齢化が進んでいるのでしょうか。令和4年の人口推計によると、全国平均は29.0%、山口県は35.2%で全国3位。全国より10年早く高齢化が進んでいるといわれています。 高齢化に伴い、「フレイル予防」という言葉を耳にするようになりました。全国各地で高齢化対策として、健康寿命の延伸を目指し、地域で様々な活動がされています。フレイル予防について学び、健康寿命の延伸について一緒に考えてみませんか。	生徒	目標3
B-23	助教 後藤 俊	<b>目の前で人が倒れたら、倒れていたら。</b> 目の前で人が倒れたら、倒れていた場合の正しい行動と少しの知識で救える命があるかもしれません。本講義では、一次救命処置とAEDの使い方をお教えます。	生徒	目標3
B-24	助教 藤村 雅子	<b>「歳のせいです」ではなく、異常に気づいてあげる</b> 加齢だけでなく、食事、喫煙、ストレスなどの生活習慣が発症に大きく関与している生活習慣病は、以前は成人病と呼ばれていました。主として心疾患や脳血管疾患、悪性腫瘍などで、40歳前後から急に死亡率が高くなります。悪性腫瘍は死因順位1位、心疾患第2位、脳血管疾患第4位です。生活習慣の改善や予防は大事ですが、もし心疾患や脳血管疾患になったときにすぐに気づくことも大事です。どんな症状が異常のサインかを知っておくことで人の異常に気付いてあげることができます。	生徒	目標3
B-25		<b>健康に過ごすために、姿勢と歩行</b> 人は直立歩行で、一番重たい頭(脳)を一番上にのせて生活しています。姿勢が崩れていくことで、様々な体調不良が起こります。いつまでも元気で自分らしく過ごすためにも、自分の身体を見つめてみませんか。		

保育学科 出張講義テーマ一覧

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
C-1	教授 近藤 鉄浩	<b>知っておきたい子どもの権利</b> 保育の世界は子どもを大切にできる世界。子どもを大切にすることは、子どもの人としての権利を尊重することです。子どもの権利という「権利」というのは、義務を果たしてからでないと主張できない。「子どもに権利なんて認めれば、わがままのやり放題になってしまう」といった大人の声が出てきます。私たちの社会は子どもの権利について否定的にとらえる面が強い社会です。 そんな社会に在るからこそ、国連が定めた「子どもの権利条約」にはどのようなことが書かれているか、子どもの権利を尊重するにはどうすればよいかを学びます。	生徒	目標4 目標16
C-2		<b>障害があるとはどういうことか</b> 障害がある人のことを「障害児」「障害者」と呼びますが、そもそも「障害」とは何を指すのでしょうか。このことは障害のある人にとって生きやすい社会をつくる上でとても大事なポイントです。 障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」を目指すために、障害とは何かを考えてみましょう。	生徒	目標4 目標10
C-3	教授 伊藤 一統	<b>「教育」とはなにか</b> 人間社会における「教育」の意義・重要性を説明します。学校教育が整備されてきた歴史的経緯を振り返りながら、「教育」という営みはどのようなものか、どのような機能をもっているのかといったことについて概説します。さらに、情報化など高度化・複雑化する社会、また生涯学習社会の実現を目指す中において、「教育」が抱える新たな課題や今後の役割などについて考えます。	生徒	
C-4		<b>大学はどんなところかー大学での学びと生活の実感ー</b> 中等教育終了後の世界はどのようなものかというこの理解を促し、人生プランの一助とすることを目的とします。高等教育機関というものについて、制度的・歴史的側面をふまえて解説します。さらに現代的な課題と期待される役割について説明します。正しい理解を促し、その中での「学習者」の在り方にふれたいと思います。	生徒	
C-5		<b>ボランティア、NPOのはなし～“わたしたち”が担うまちづくり～</b> 近年、我が国でも提唱される市民社会の形成にむけた非営利活動の促進の背景と現状について概説します。様々な行き詰まりをみせる現代社会において、どうすればすみよい街をつくり、維持できるのか。近年の公共政策における市民活動重視の方針の概要を説明し、市民活動の実践例を紹介しながら、ボランティア、そしてNPOなどのボランティア・セクターが力を持つ「新たな公共」の形について解説します。	生徒	
C-6	教授 弘中 陽子	<b>いきいき、わくわく運動遊び！</b> 思いっきり体を動かして遊んでいませんか？本来、子どもは体を動かすことがとても好きです。のびのびと、自由に、主体的に体を動かすことで、運動能力や技能の発達、体力の向上や人とのつながりといった社会性の向上等につながってゆきます。本講義は、子ども達にとっての運動遊びの必要性や効果、そして支援の方法について、運動遊びの実践を通して考えていきます。まずは、自分自身の心と体で、体を動かす楽しさや心地よさを感じる、気づくところから始めてみましょう。	生徒	目標3
C-7	准教授 重村 美帆	<b>「保育」ってなあに</b> 「保育」についてみなさんが持っているイメージはどのようなもののでしょうか。保育のキーワードは、「楽しい」です。子どもたちが自ら、楽しい、やりたいと感じることができる保育づくりには、教育的な側面と養護的な側面が隠されています。ある子どもたちの一場面を事例に、多面的に物事を観察し、考察するおもしろさを学んでみましょう。	生徒	目標3 目標4
C-8		<b>子どもと絵本の世界</b> 幼い頃に、お父さん、お母さんや先生から絵本を読んでもらった経験はあるでしょうか。子どもは、絵本が大好きです。それは、一冊一冊のお話の中に、ワクワクする世界が待っているからです。たくさんのお絵本に出会える子どもは、言葉やイメージをどんどん蓄え、豊かな心となややかに生きる力の源を育んでいきます。絵本の読み聞かせを通して、過去、現在、そして未来の自分像への展望を考察してみましょう。	生徒	目標4
C-9		<b>実習の心構え</b> 保育現場(保育所や幼稚園)で実際に子どもや保育者と出会い、色々なことを感じたり、考えたりすることはとても大切な経験です。この経験をより良いものにするためには、いくつかの心構えが必要となります。「子どもたちがケンカをした時はどうしたらいいの?」「忙しい先生に声をかけるタイミングはいつなの?」といった素朴な疑問を解決します。	生徒	
C-10	C-11	<b>保育者を目指すために今すべきこと</b> 保育者を目指すために必要なことは何でしょうか。「子どもが好き」「ピアノが上手」「遊びの名人」等、みなさんが考える条件が備わっていないと保育者にはなれないのでしょうか。 保育者として必要な資質にはいくつかありますが、その中でも一番大切なのは「責任」と「覚悟」だと考えています。みなさんの考える保育者像を通して、今後の「働く自分」について見つめてみませんか。	生徒	目標3 目標4
C-11		<b>子どもとあそび</b> 乳幼児期の子どもにとってあそびは「学び」です。手あそびや折り紙、製作あそび等を実際に体験しながら、それを通して感じたこと、気づいたことについて考えていきます。なぜ楽しいと感じたのか、どうして面白いと思ったのか、そのなぜ、どうしてこそ「あそび」が「学び」であるというヒントが隠されています。子どもになりきってあそびながら、子どもへの理解を深めてみましょう。	生徒	目標4
C-12	准教授 原井 輝明	<b>上手い下手ではない絵画の魅力</b> 絵を描くのが苦手だと言うことをよく聞きます。見たものをそのまま写し取ることが上手いとされていて、見た通りに描けないから苦手と感じているのかもしれないかもしれません。見た通りに描くことが絵画ではありません。絵肌と云う言葉がありますが、絵の表情を作ることによって生み出される技法の一つです。簡単な技法を使って楽しい絵づくりを体験しましょう。	生徒	
C-13		<b>五感を使って、感性を豊かにしよう！</b> 日常生活において現代人は、8割以上を視覚から得ていると言われていています。と言うことは、視覚に障害のある方は、視覚以外の五感を使って世界を認識しています。視覚以外の感覚器官を使って認識する機会を体験し、障害のある方の置かれている状況を理解すると同時に、普段十分に使っていない器官を使うことで、感性を豊かにしましょう。	生徒	目標3
C-14	准教授 久光 明美	<b>歌い継ぎたい童謡・唱歌</b> 電子音であふれている現在、子どもたちの音楽とはどんな存在なのでしょう？音楽とは歌であるといわれます。歌は声により、声は心につながっているのです。童謡・唱歌を通して人間らしい心の歌を学び、歌いましょう。そして未来の子どもたちに心よりどころとして、歌い継ぎたいものです。	生徒	
C-15	講師 甘 麻乃	<b>自分を知る</b> 生まれてから死ぬまでずっと付き合い続けていく自分。自分のことは自分が一番わかっていると言われますが、自分のことだからこそよくわからない部分も多いと思います。自分を知ることによって、自身がどのような人・モノを見ているのかに気づくことや、自分のいろいろな面に気づき自分を伸ばすことにつながります。本講義では、いくつかのワークを通して、「自分」について知るきっかけをつくります。	生徒	

## 食物栄養学科 出張講義テーマ一覧

番号	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
D-1	教授 石丸 隆行	<b>たんぱく質の不思議</b>	生徒	
		たんぱく質は生体に必須な栄養です。一方、産業的にも酵素などとても重要な働きをしています。しかし、体の中で作られたたんぱく質に異常があるとアルツハイマー病のような重篤な病気を引き起こすことなども知られています。そんなたんぱく質のお話をしたいと思います。		
D-2	教授 石丸 隆行	<b>水や食の安全性とは？</b>	生徒	目標2 目標3 目標6 目標15
		普段飲んでいる水や食べ物は安全とされています。ではなぜ安全なのでしょう。その安全とは何かについて学んでみませんか。また、近年注目されている昆虫食はなぜ注目されているのか知っていますでしょうか。その背景や理由も学んでみましょう。		
D-3	教授 門間 政亮	<b>情報とは</b>		
		現代、我々は情報と呼ばれるものに囲まれています。しかし、そもそも情報とはいったい何なのか、考えてみたことはありますか？この素朴な疑問から、どのように付き合っていくべきなのかまで、今日に至る情報技術の歴史と、最新のデータを交えながらご紹介します。		
D-4	准教授 岸田 千恵	<b>腸内細菌と私たちの健康</b>	生徒	目標3 目標4
		風邪やインフルエンザなどの感染症や花粉症、便秘などに悩まされていませんか？ これらのすべてに、腸内細菌が大きく関わっています。腸を健やかに保つことが健康づくりの第一歩！今日からすぐできる「腸内細菌が喜ぶ食事のポイント」を学び、実践してみましょう。		
D-5	准教授 田辺 のぶか	<b>食べる機能を知ろう！</b>	生徒	目標3 目標4
		私たちは普段、当たり前のように食事を摂取していますが、食べ物を認識して口に取り込み咀嚼(そしゃく)してから胃に至るまで、実はとても複雑なメカニズムで構成されています。食べる＝幸せの入り口、「食べるための機能」について学びましょう。		
D-6	准教授 山下 晋平	<b>食事と運動 -Let's カロリーチェック！-</b>	生徒	
		ダイエットに興味がある人、体を大きくしたいと思っている運動部の人等、カロリーと聞くと食事のことばかり考えていませんか？食事はもちろん運動も大事です。運動や日頃の生活で消費するカロリーを知ることで自分にあったダイエットや食事を考えてみませんか？ 食べるから元気がでて動けるのか…動いてお腹が減るから食べるのか…。どちらが先なのかはわからないくらい、運動と食事は密接です。食事も運動も詳しくなりましょう！		
D-7	准教授 山下 晋平	<b>スポーツと栄養</b>	生徒	
		試合時に、いつも通りの力を発揮出来たら・・・と考えたことはありませんか？ 食事や栄養は、よいパフォーマンスを発揮するために、重要な要因と考えられています。 そのため試合で、本来の力を発揮するために、普段の食事、試合期の食事などについて学んでみませんか？		
D-8	助教 高木 祐花	<b>献立作成をしてみよう！</b>	生徒	
		栄養士の仕事の1つである献立作成。献立作成の基本は、主食、主菜、副菜の料理の組み合わせであり、特定の食品に偏ることなく多様な食品を組み合わせて栄養素をバランスよく摂る事が出来ます。料理カードを用いて 主食、主菜、副菜を組み合わせさせた1食分の献立作成に取り組んでみましょう！		

出張講義申込用紙(FAX番号:0836-38-0600)

申込日:令和 年 月 日

学 校 名					
担当者氏名					
連絡先	住所	〒			
	TEL			FAX	
	E-mail				
希望講義	希望順位	講義番号 (各学科の頁参照)	SDGs目標番号 (※)下記参照	講師名	
	1	—			
	2	—			
	3	—			
(※)SDGsの目標に関連する内容を希望する場合は、各学科頁の対応可能目標番号をご確認のうえ、お書きください					
具体的な内容のご希望は備考にお書きください。 (※ご要望にお応えできない場合もあります)					
希望日時	第1希望		第2希望		第3希望
	月 日 ( ) [ 時 分 ~ 時 分 ] [集合時間]		月 日 ( ) [ 時 分 ~ 時 分 ] [集合時間]		月 日 ( )
受講対象者 (受講対象の学年と人数を記入)		受講対象者: [ 学年 人 ]			
使用会場 (講義にて使用する教室等を記入)					
利用可能な機材 (利用可能なものに○印)		パソコン・プロジェクター・スクリーン・マイク			
費用負担		旅費	有・無	謝金	有・無
備考 (講義の時間の長さや講義形式、内容など、ご希望を自由にお書きください。)					

※メールにてご提出の場合は、申込用紙を本学HPよりダウンロードしてご利用ください。(E-mail: info@frontier-u.jp)

(派遣依頼様式例)

令和 年 月 日

宇部フロンティア大学 学長 様  
宇部フロンティア大学短期大学部

高等学校名

校 長 名

㊟

講師の派遣について (依頼)

標記について、下記のとおり、本校への出張講義の講師を依頼したいので、  
よろしく願いいたします。

記

- 1 日 時 令和 年 月 日 ( ) 時 分から 時 分
- 2 集合時間 時 分までに集合
- 3 場 所 高校名および会場 (教室等)
- 4 テ ー マ 冊子のテーマタイトル  
講 師 名 講 師 名
- 5 対 象 第 学年 名
- 6 担 当 者 当日運営のご担当者のお名前と連絡先
- 7 そ の 他

(こちらは一例ですので、各学校様の様式において作成いただいても結構です)

(こちらの例文は、本学ホームページよりダウンロードできます)

